



北海道胆振総合振興局  
地域創生部 地域政策課

〒051-8558 北海道室蘭市海岸町1丁目4番1号 むろらん広域センタービル4階  
TEL:0143-24-9567 FAX:0143-22-5170

このパンフレットは、北海道を応援する皆様からお寄せいただいた「ふるさと納税」を活用して作成しています。



いぶり文化遺産  
アイヌ文化

いぶり歴史遺産  
縄文遺跡群

いぶり地形地質遺産  
洞爺湖有珠山ジオパーク

いぶり産業遺産  
炭鉄港

いぶり古代遺産  
むかわ竜

# 北海道 いぶり 五大遺産

未来につなげたい、胆振の宝物。

未来につなげたい、胆振の宝物。

# いぶり五大遺産

北海道の南西部・胆振地方には、世界的にも価値のある地域資源が揃っています。

北海道胆振総合振興局では、

「洞爺湖有珠山ジオパーク」「アイヌ文化」

「縄文遺跡群」「むかわ竜」「炭鉄港」を

【いぶり五大遺産】と位置付けて、

その価値や魅力を発信しています。



いぶり歴史遺産  
縄文遺跡群 P07

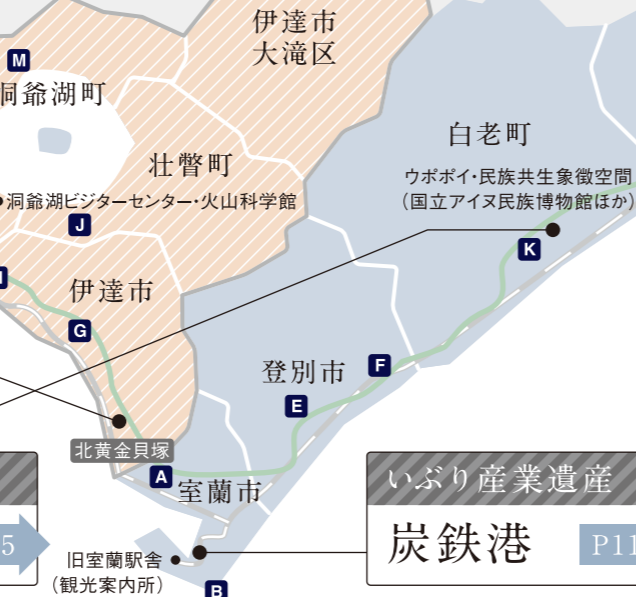
いぶり文化遺産  
アイヌ文化 P05

いぶり地形地質遺産  
洞爺湖有珠山ジオパーク P03



いぶり産業遺産  
炭鉄港 P11

いぶり古代遺産  
むかわ竜 P09



A ~ O についてはp13・p14をご覧ください。

道の駅あびらD51ステーション

安平町

むかわ町

●むかわ町穂別博物館

厚真町

苫小牧市

白老町

ウポポイ・民族共生象徴空間  
(国立アイヌ民族博物館ほか)

伊達市  
大滝区

壮瞥町

洞爺湖町

豊浦町

登別市

北黄金貝塚

室蘭市

旧室蘭駅舎  
(観光案内所)



いぶり地形地質遺産

# 洞爺湖有珠山ジオパーク

洞爺湖有珠山ジオパークは、「変動する大地との共生」をテーマとするジオパーク\*です。

洞爺湖を中心に、エリアは伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町からなり、その面積は約1,064平方キロに及びます。

2009年に世界ジオパークとして認められ、

2015年11月からはユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の正式な認定を受けた「ユネスコ世界ジオパーク」となっています。

\*ジオパーク…生きていく地球と、生命のつながりを楽しく学べる貴重な場所。「地球・大地(Geo)」と「公園(Park)」を組み合わせて名付けられたもの。

## 噴火の爪痕をそのまま「災害遺構」に

洞爺湖は、今から約11万年前の巨大な噴火で生まれ、有珠山も約2万年前から噴火を繰り返して生まれました。有珠山は江戸時代以降、20～30年おきに噴火している活火山で、最近では2000年に噴火活動がありました。洞爺湖有珠山ジオパークの最大の特徴は、人々が活火山のすぐ近くで暮らし続けてきたということ。過去の噴火災害の記憶を風化させないために、噴火による被害を受けた建物や道路などを丸ごと「災害遺構」として保全し、見学できる散策路にしています。

## 火山との共生

この地域で人が暮らし続けていくためには、火山と共生する意識と噴火災害への備えが必要です。地域防災のリーダーとして活動するとともに地域の魅力発信に取り組む「洞爺湖有珠火山マイスター」や、火山をよく知り自然災害や防災にも詳しいガイドによるツアーも人気です。ダイナミックな風景も、豊富に湧き出る温泉も、海や大地の幸も、すべて火山の恵みです。それらを満喫しながら、地球そのものに思いをはせる……それが洞爺湖有珠山ジオパークの楽しみ方です。

情報リンク 洞爺湖有珠山ジオパーク

<https://www.toya-usu-geopark.org/>

おすすめスポット 洞爺湖ビジターセンター・火山科学館

住 洞爺湖町洞爺湖温泉142-5

電 0142-75-2555

時 9:00～17:00

休 12/31～1/3

車でのアクセス/  
高速道路利用

●札幌北ICから……約1時間50分  
●新千歳空港ICから…約1時間20分



# いぶり文化遺産 アイヌ文化

アイヌ民族は日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族です。

独自言語のアイヌ語をはじめ、万物に魂が宿るとされている宗教観、独特の文様による刺繍、木彫り等の工芸など、固有の文化を発展させてきました。

祭りや家庭での行事などに踊られる「アイヌ古式舞踊」は、国の重要無形民俗文化財に指定され、さらにユネスコ無形文化遺産\*にも登録されています。

\*ユネスコ無形文化遺産…有形の文化財の保護と継承を目的とする世界遺産に対し、無形文化遺産は、民俗文化財、フォークロア、口承伝統などの無形のものを対象としています。



撮影協力:公益財団法人 アイヌ民族文化財団

## 暮らしの中から生まれたアイヌ古式舞踊

アイヌ民族は儀式のとき、集いのとき、仕事のときなどに歌い踊りました。踊りは、リムセ、ウポボ、ホリッパなどと呼ばれる、大きな輪になって踊るもの、神々への祈りを表したものの、豊漁彌を祈願するもの、動物の動きを表したものなど多彩なものがあり、その場にいる人たちの歌と手拍子で踊られます。アイヌ民族にとって踊りとは、自分たちと神々が一緒になって楽しむものでした。現在では18の保護団体が国の「重要無形民俗文化財」に登録され、アイヌの主要な祭りなどで踊られているほか、かつて個人が歌っていたものが伝承され、共有の歌として歌い継がれています。

## ウポポイ(民族共生象徴空間)に行ってみよう

2020年7月12日、白老町ポロト湖畔に誕生した「ウポポイ(民族共生象徴空間)」は、先住民族であるアイヌの文化の復興と発展に関するナショナルセンターです。豊かな自然に囲まれた敷地内は、アイヌ文化が息づく憩いの場でもあります。アイヌを主題とした日本初の国立博物館「国立アイヌ民族博物館」や、体験型フィールドミュージアム「国立民族共生公園」などがあり、「体験交流ホール」では、アイヌ古式舞踊や楽器演奏など、アイヌの伝統芸能を体感することができます。

情報リンク ウポポイポータル

<https://ainu-upopoy.jp/>

おすすめスポット ウポポイ(民族共生象徴空間)

住 白老町若草町2丁目3

電 0144-82-3914

時 4/1~10/31……9:00~18:00(平日)、9:00~20:00(土日祝)  
※7/21~8/31……9:00~20:00  
11/1~3/31……9:00~17:00

車でのアクセス/  
高速道路利用 ●札幌ICから……約1時間5分  
●新千歳空港ICから…約40分

休 月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)  
及び年末年始(12月29日~1月3日)



いぶり歴史遺産

# 縄文遺跡群

約1万年にわたって続いた縄文文化は、優れた技術や豊かな精神世界を持ち、

高度に発達・成熟した世界的にも貴重な先史時代の文化です。

胆振にも、数多くの縄文遺跡があり、その中の北黄金貝塚(伊達市)、

入江貝塚・高砂貝塚(洞爺湖町)を含めた「北海道・北東北の縄文遺跡群\*」の

世界遺産登録を目指しています。

※北海道・北東北の縄文遺跡群…北海道6、青森県8、岩手県1、秋田県2の計17遺跡で構成。

## 遺跡全体の保存状態が良好な「北黄金貝塚」

伊達市北黄金には、縄文時代前期(約7,000年前～約5,500年前)の縄文貝塚遺跡「北黄金貝塚」があります。総面積は30万㎡、うち約9万㎡が国史跡に指定されています。貝塚からは貝や魚の骨のほかにも人骨も発掘されており、出土した人骨は保存状態がよく、北海道の古人骨研究の基準資料になっています。貝塚周辺は公園化されており、出土品や貝塚の断面、墓地などの復元模型などを展示する「北黄金貝塚情報センター」では、勾玉づくりや模擬発掘などが体験できます。

## 漁労文化の特徴を表す「入江貝塚・高砂貝塚」

洞爺湖町の台地の上にある「入江貝塚」は、縄文時代前期(約5,000年前)から後期(約3,000年前)の貝塚で、1663年の有珠山噴火の火山灰に埋もれて残っていました。貝塚からは貝や動物の骨のほか、クジラなどの海獣類の骨も出土しています。「入江・高砂貝塚館」を挟んで入江貝塚の反対側にある「高砂貝塚」では、縄文時代後期(約3,500年前)に作られた貝塚と、縄文時代晩期(約2,500年前)に作られた墓28基が発見され、墓の周囲ではストーンサークルも見つかっています。

情報リンク 北海道・北東北の縄文遺跡群  
<https://jomon-japan.jp/>

おすすめスポット 北黄金貝塚情報センター

住 伊達市北黄金町75

電 0142-24-2122

時 9:00～17:00

休 12月～3月

車でのアクセス／  
高速道路利用 ●札幌北ICから……約1時間35分  
●新千歳空港ICから……約1時間5分

おすすめスポット 入江・高砂貝塚館

住 洞爺湖町高砂町44

電 0142-76-5802

時 9:00～17:00

休 月曜日、祝日の翌日、12月～3月

車でのアクセス／  
高速道路利用 ●札幌北ICから……約1時間50分  
●新千歳空港ICから……約1時間20分

# いぶり古代遺産 むかわ竜

むかわ町穂別の約7200万年前(白亜紀後期)の海の地層から発見された恐竜化石「むかわ竜」。

全長8mの骨格のうち、8割以上という高い割合で骨が残った大型恐竜の全身骨格化石の発見は国内初であり、海の地層から発見された恐竜の全身骨格化石も国内初です。

その後、ハドロサウルス類の新属新種と認定され、「カムイサウルス・ジャポニクス\*」と命名されました。

※カムイサウルス・ジャポニクス…アイヌ語で「神」を意味するカムイ、ラテン語で「トカゲ・竜」を意味するサウルス、ラテン語で「日本」を意味するジャポニクスからなる学名。

## 歴史を変えた日本最大の恐竜全身骨格

むかわ竜が発掘されたむかわ町穂別は、太古は海だった場所です。恐竜は陸の生き物ですが、むかわ竜は海に流されて海底に沈み、そこで埋まって化石になったと考えられています。見つかった化石を並べるだけでおおよその姿が分かる全身の骨格化石は、まさに日本の恐竜研究の歴史に刻まれる大発見でした。口の先からしっぽの先まで全長約8m、地面から背中の上まで約3.8m、体重は約4~5.3トンと推定されるむかわ竜は、現在のところ日本最大の恐竜全身骨格化石です。

## 世界的な恐竜研究の進歩への期待

2003年、町内の男性が沢の崖で発見した尾椎骨が首長竜のものであると判断されました。2011年に、首長竜ではなく恐竜の化石であることが判明。2013年から発掘が開始された全身骨格化石は、2016年にむかわ竜と名付けられ、その後の研究で新属新種の恐竜であることがわかりました。2019年9月6日に、学名をカムイサウルス・ジャポニクスと命名。恐竜化石の発掘は、アジアでは内陸のモンゴルが有名ですが、日本を含む当時のアジア沿岸部で発掘が進めば、恐竜研究の新たなページが開かれることとなるでしょう。

[情報リンク](#) むかわ町 恐竜ワールド [情報リンク](#) 穂別博物館公式サイト  
<https://mukawaryu.com/> <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

[おすすめスポット](#) むかわ町穂別博物館

**住** むかわ町穂別80-6

**電** 0145-45-3141

**時** 9:30~17:00(最終入館16:30)

**休** 月曜・祝日の翌日・年末年始



※むかわ竜の全身骨格復元模型は、現在、一般公開しておりませんが、むかわ町穂別博物館では、むかわ竜の実物化石の一部を展示しております。

**車でのアクセス／**  
高速道路利用 ●札幌北ICから……約1時間40分  
●新千歳空港ICから……約1時間20分

いぶり産業遺産

# 炭鉄港

「炭鉄港」とは、近代の北海道を築き基となった三都(空知・室蘭・小樽)を、石炭・鉄鋼・港湾・鉄道というテーマで結ぶことにより、人と知識の新たな動きを作り出そうとする取り組みです。

その歴史を紐解くと、北海道の産業革命の物語が見えてきます。

この「炭鉄港」のストーリーは、2019年5月20日に、文化庁が選定する「日本遺産\*」に認定されました。

※日本遺産…地域の歴史的魅みや特色を通じてわが国の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が「日本遺産(Japan Heritage)」として認定するもの。炭鉱23、鉄鋼5、港湾5、鉄道12の計45で構成。

## 北海道の発展を支えた三都の物語

北海道の近代化の契機は、1879年の官営幌内炭鉱の開鉱でした。空知の石炭を小樽港へ運ぶ幌内鉄道は、札幌の発展にも貢献しました。1892年に鉄道が延伸された室蘭は石炭積出港となり、1907年には日本製鋼所、1909年には北海道炭礦汽船輪西製鐵場が設立され、室蘭は鉄のまちに。室蘭への鉄道延伸と同時に、今の安平町内にあった追分駅構内には「追分機関庫」が設置され、運転拠点として活用されました。空知・小樽・室蘭を結ぶ鉄道と、三都の基幹産業である石炭・港湾・鉄鋼は、北海道の急速な発展を支えた立役者でした。

## 炭鉄港の歴史を活かしたまちづくり

室蘭港は、最盛期には本州向け道内炭の約6割を移しましたが、1976年に石炭積出港としての役割を終えました。また、1975年には日本最後のSLとして、室蘭一岩見沢間で定期旅客運行列車が、追分一タ張間で貨物列車が運行しました。そして現在、室蘭市では幻想的な「工場夜景」や国の登録有形文化財「旧室蘭駅舎」などが人気を集め、安平町では2019年に「道の駅 あびらD51ステーション」がオープンし、蒸気機関車や鉄道関連資料が展示されるなど、炭鉄港の歴史を活かしたまちづくりが進められています。

情報リンク 炭鉄港

<https://3city.net/>

おすすめスポット 旧室蘭駅舎(観光案内所)

住 室蘭市海岸町1丁目5-1

電 0143-23-0102(室蘭観光協会)

時 8:00~19:00(11月~3月は17:00まで)

休 1/1

車でのアクセス/  
高速道路利用

●札幌北ICから……約1時間40分  
●新千歳空港ICから……約1時間5分

おすすめスポット 道の駅あびらD51ステーション

住 安平町追分柏が丘49-1

電 0145-29-7751

時 9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)

休 12/31~1/3

車でのアクセス/  
高速道路利用

●札幌北ICから……約45分  
●新千歳空港ICから……約25分

# 知識が深まる、好奇心の旅へ。いぶりのミュージアム

## A 室蘭市民俗資料館(とんでん館) 室蘭市

**住** 室蘭市陣屋町2丁目4-25  
**電** 0143-59-4922  
**時** 10:00~16:00  
**休** 月曜、祝日の翌日、年末年始、1/20~3/19

室蘭の歴史と文化についてさまざまな視点から展示。埋蔵文化財を含む約22,000点の資料が収蔵展示され、特に縄文期の資料が豊富です。

## E 登別市郷土資料館 登別市

**住** 登別市片倉町6丁目27  
**電** 0143-88-1339  
**時** 10:00~17:00 (11月~3月は16:00まで)  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始

登別市に移住した仙台藩士・片倉家に関する資料、アイヌ文化に関する資料などを展示。片倉家の白石城をモデルとした外観が特徴的です。

## I カムイチャシ史跡公園 豊浦町

**住** 豊浦町礼文華  
**時** 10:00~17:00 (11月~3月は9:00~16:00まで)  
**休** 1~3月不定休

かつてアイヌ民族が使用していたと考えられるチャシ跡を見ることができる公園。国指定の景勝地「ヒッカノカ」に指定されています。

## M 洞爺湖芸術館 洞爺湖町

**住** 洞爺湖町洞爺町96-3  
**電** 0142-87-2525  
**時** 9:30~17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、12/1~3/31

旧洞爺村役場庁舎を改装した、湖畔の小さな美術館。北海道を代表する彫刻家・砂澤ピッキの作品をはじめ、芸術作品と洞爺湖の両方を満喫できます。

## B 地球岬 室蘭市

**住** 室蘭市母恋南町4-77  
**時** 9:30~16:30  
**休** 火曜日(祝日の場合は開館)、冬期休館(12/20~2月末)

100m前後の断崖絶壁が連なり、快晴の日には太平洋を一望できる人気スポット。アイヌ語で「断崖」を意味する「チケブ」が由来です。

## F 知里幸恵 銀のしずく記念館 登別市

**住** 登別市登別本町2丁目34-7  
**電** 0143-83-5666  
**時** 9:30~16:30  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、冬期休館(12/29~1/3)

アイヌの物語を初めてローマ字表記で文字化した「アイヌ神謡集」の著者、知里幸恵の生涯と業績について学ぶことができる博物館です。

## J 三松正夫記念館 壮瞥町

**住** 壮瞥町字昭和南山184-12  
**電** 0142-75-2365  
**時** 8:00~17:00 (11月~3月は9:00~16:00まで)  
**休** 1~3月不定休

昭和南山の成長の経過を詳細に観察記録した「ミマツダイヤグラム」など、三松正夫氏の資料を保管展示している記念館です。

## N 早来郷土資料館 安平町

**住** 安平町早来大町156-1  
**電** 0145-29-7036 (安平町教育委員会社会教育グループ)  
**時** 9:00~17:00(要事前連絡)  
**休** 土日祝、年末年始

旧早来町開拓の歴史がわかる、貴重な農機具などが収められています。

## C 苫小牧市美術博物館 苫小牧市

**住** 苫小牧市末広町3丁目9-7  
**電** 0144-35-2550  
**時** 9:30~17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)

苫小牧の歴史、考古、自然、文化芸術に関する調査・研究、収集・保管するとともに、展示・教育を通してその魅力を広く発信している博物館です。

## G だて歴史文化ミュージアム 伊達市

**住** 伊達市梅本町57-1  
**電** 0142-25-1056  
**時** 9:00~17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/31~1/5)

「本館」「体験学習館」の2つで構成。縄文・アイヌ・武士の文化の同時展示で伊達の歴史を紹介しています。

## K 仙台藩白老元陣屋資料館 白老町

**住** 白老町陣屋町681-4  
**電** 0144-85-2666  
**時** 9:30~16:30  
**休** 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)

国の指定史跡白老仙台藩陣屋跡の敷地内に立つ資料館。史跡の絵図面や古文書、武器など約300点の資料を所蔵しています。

## O ほべつ道民の森野外博物館 むかわ町

**住** むかわ町穂別108-2  
**時** 9:00~17:00(要事前連絡)  
**休** 土日祝、年末年始

タイムトンネルをくぐると、森の中に巨大なアンモナイトやクビナガリュウなどのオブジェが点在する古代の世界が出現します。

## D 勇武津資料館 苫小牧市

**住** 苫小牧市字勇弘132-32  
**電** 0144-56-0201  
**時** 10:00~17:00  
**休** 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29~1/3)

幕末の勇武津会所の外観を模した建物に、当時の生活をのびせる調度品、弁天貝塚の出土品、アイヌ民族や北前船の資料などを展示しています。

## H 有珠善光寺宝物館 伊達市

**住** 伊達市有珠町124  
**電** 0142-38-2007  
**時** 9:00~17:00(完全予約制)  
**休** 不定休

幕府や朝廷関係資料などの国指定重要文化財をはじめ、道有形文化財、アイヌ民族資料などを展示保管。完全予約制のため、見学の場合は事前連絡を。

## L 軽舞遺跡調査整理事務所 厚真町

**住** 厚真町字軽舞205-2  
**電** 0145-28-2733  
**時** 9:00~17:00  
**休** 土日祝(事前連絡で対応可)

厚幌ダム工事にともなう発掘調査での出土品や、農耕具などの生活用品を中心に約9000点も収蔵し、郷土資料館として一般公開しています。

A ~ O 各施設の位置はp1-p2のマップをご参照ください。

知ると旅がもっと面白くなる!

# いぶりのアイヌ語地名

出典…北海道環境生活部  
 アイヌ政策推進局アイヌ政策課「アイヌ語地名リスト」

## 室蘭市

イタンキ ◀◀◀ イタンキ【椀】  
 祝津【しゅくつ】 ◀◀◀ シクトウル、シクトウツ【ノビル(エゾネギ)シクツウシ(シクトウ)】【全くの岩崖群生する所】

地球【ちきゅう】 ◀◀◀ チケブ【自分・を削った・もの=断崖絶壁】  
 母恋【ぼこい】 ◀◀◀ ポクオイ【ポコイ】【ホッキ貝・群生する・所】  
 室蘭【むろらん】 ◀◀◀ モルラン【小さい・坂】

## 苫小牧市

ウトナイ ◀◀◀ ウツナイ【肋骨・川】  
 苫小牧【とまこまい】 ◀◀◀ トマクオマイ【トマコマイ】  
 【沼の(ある)・マコマイ川(山の方・に入っている・川)】

## 登別市

オロフレ ◀◀◀ オロフレベツ【水中赤き川(その中が・赤い・川)】  
 登別【のぼりべつ】 ◀◀◀ スブルベツ【水の色の濃い・川】  
 幌別【ほるべつ】 ◀◀◀ ポロベツ【大きい・川】

## 厚真町

厚真【あつま】 ◀◀◀ アツマ【モモンガ・泳ぐ】  
 アツオマ【アツマ】【オヒョウニレ・ある・所】  
 アツマム【アツマ】【向こうの・湿地帯】

## 安平町

遠浅【とあさ】 ◀◀◀ トアサム【沼・の奥】、トサム【沼・の端】

## 伊達市

有珠【とあさ】 ◀◀◀ ウシオロ【ウソロ】、入江【入江・の内】ウシ【入江】  
 若生【わかおい】 ◀◀◀ ワッカオイ【水所(水・ある・所)】

## 豊浦町

貫気別【ぬつきべつ】 ◀◀◀ スナギベツ【濁水の・川】  
 礼文華【れぶんげ】 ◀◀◀ レブンケブ【崩れたる崎(沖の方へ)・削るもの(断崖)】

## 壮瞥町

壮瞥【そうべつ】 ◀◀◀ ソベツ【滝・川】  
 蟠溪【ばんけい】 ◀◀◀ バンケウ【下の湯(下流側の・温泉)】

## 白老町

白老【しらおい】 ◀◀◀ シラウオイ【アブ多き所(アブ・多い・所)】  
 ポロト ◀◀◀ ポロト【大きい・沼】

## 洞爺湖町

洞爺【とや】 ◀◀◀ トヤ【湖・の岸】

## むかわ町

穂別【ほべつ】 ◀◀◀ ポベツ【小川(小さい・川)】  
 ポンベツ【子なる・川】